

とやま就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画【概要】

(令和2年10月5日 第2回「とやま就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」会議)

計画期間：令和2年度～令和4年度

I 趣旨

- バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期（概ね平成5年から平成16年）に学校卒業期を迎えた、いわゆる「就職氷河期世代」においては、卒業時、不安定な就労や無業に移行したことが端緒となり、今なお、不安定就労等を余儀なくされている者も少なくない状況にある。
- そのため、とやま就職氷河期世代活躍支援プラットフォームでは「事業実施計画」を策定し、就職氷河期世代の方々の活躍の機会が広がるよう、県内の気運を醸成し、各界が一体となって効果的かつ継続的な取組を推進していくこととする。

①不安定な就労状態にある方

II 目標

- 正規雇用者数 1,380人（3年間）

III KPI（いずれも3年間）

- ハローワークの正社員就職者数 1,914人
- キャリアアップ助成金活用の正社員転換数 255人

IV 主な取組等

- 富山わかものハローワークに「ミドル世代就職応援コーナー」を設置
- ジョブカフェにおいて、キャリアコンサルタント等を配置
- 安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公的職業訓練を実施
- 正社員就職を支援する研修プログラムの実施や、合同企業説明会・面接会を開催しマッチングを図る

②就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方

II 目標

- サポステを中心に、当事者やご家族の希望に応じ、求職活動へ踏み出すための支援を行い、就労その他の職業的自立につなげることを目指す

III KPI（いずれも3年間）

- サポステの新規受付者数 126人
- サポステの相談件数 1,695件
- サポステの支援による就職等（就職+訓練）者数 72人

IV 主な取組等

- サポステの支援対象年齢を49歳までに拡大
- サポステ・労働局の連携による職場体験等の十分な受入先企業の確保
- 職場定着を図るため、職場体験等の受入体制整備の取組の推進

③社会参加に向けた支援を必要とする方

II 目標

- 支援対象者やそのご家族のニーズや状態に応じ、支援が必要な方には確実に支援が届くよう、身近な市町村に相談して、支援を受けられる体制を整備するとともに、地域の様々な関係機関がネットワークを構築することにより、支援対象者が社会とつながりながら地域で生活できることを目指す

III KPI

- ①市町村の協力を得て、支援ニーズ等を把握する
- ②市町村プラットフォームと連携し、先進的な取組や好事例を積極的に周知する

IV 主な取組等

- 市町村プラットフォーム等でニーズの把握
- 自立相談支援機関における相談支援の拡充
- 市町村プラットフォームの取組の活性化と、好事例の情報共有